

## 第69回経営審議会 議事要録

日 時：2024年6月21日（金）14：00～15：35

会 場：北九州市立大学 北方キャンパス 本館 E-701会議室（オンライン併用）

出席者：津田理事長、柳井副理事長、古川理事、上江洲理事、中本理事、  
井上委員、瓜生委員、甲木委員、久保委員、小林委員、藤田委員、松永委員  
オブザーバー：中野監事、福田監事

### 議 案

- 1 新学部設置に伴う入学定員の変更について
- 2 2023年度財務諸表、決算報告書及び事業報告書について
- 3 2024年度第1回補正予算案について
- 4 2023年度計画に係る自己点検・評価について
- 5 第4期中期計画の変更案について

### 報 告

- 1 新学部設置場所の決定について
- 2 2023年度卒業生の就職状況について
- 3 2024年度入学者選抜試験の結果について
- 4 2023年度広報活動報告及び2024年度広報計画について

#### 議案1 新学部設置に伴う入学定員の変更について

\* 2027年4月に設置構想中である「(仮称)情報イノベーション学部」の新設に向けて、2027年度入試から大学全体の学部入学定員は変更せず、各学部の入学定員を変更することについて提案

<質疑応答>

[委員]

新学部設置に伴って大学全体の入学定員は変わらないとのことだが、教員定数については、新学部の共創社会システム学科に関しては増員が必要となるのではないか。

[副理事長]

現在ある欠員ポストを活用することと学部以外の組織からの異動で対応することになっている。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

#### 議案2 2023年度財務諸表、決算報告書及び事業報告書について

\* 北九州市長に提出する「2023年度事業に係る財務諸表(案)」、「決算報告書(案)」、「事業報告書(案)」について提案。

<質疑応答> なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

### 議案3 2024年度第1回補正予算案について

- \* 新学部を設置場所の決定に伴い、新学部校舎を建設するための基本設計を大学・高専成長分野転換支援基金助成金を活用して実施するため、補正予算案について提案。

<質疑応答> なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

### 議案4 2023年度計画に係る自己点検・評価について

- \* 公立大学法人北九州市立大学評価委員会に提出する「令和5年度計画に係る自己点検・評価報告書(案)」について、提案。

<質疑応答>

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

### 議案5 第4期中期計画の変更案について

- \* 地方独立行政法人法の一部改正に対応するために中期計画の各項目に評価指標を追加すること、また、国の「大学・高専機能強化支援事業」に採択された新学部設置を中期計画の最重点事業の一つとして、反映する必要があることから、中期計画を変更する案について提案。

<質疑応答>

[委員]

中期計画の各項目に数値化した目標を設定して評価することは大事である。数値目標の中で、No. 3に記載の「2年次修了時にTOEIC470点相当以上の到達者の割合50%以上」は、2019年度以降、60%以上で推移していることを見れば、そもそも目標値が低いのではないか。見直すことは検討されたのか。

[副理事長]

教育研究審議会でも同様の意見があった。この50%は、当初の中期計画で既に掲げていた数字であったこともあり、次期の中期計画策定時に改めて設定することとしたい。しかし、本学としては、50%という数字に満足している訳ではなく、より良い教育手法を取り入れながら取り組んでいるところである。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

### 報告1 新学部を設置場所の決定について

- \* 新学部を且過市場(BC地区)に設置することを決定したことを報告。

<質疑応答>

[委員]

且過市場の設置が決まった後、「北九州市立大学は、なぜ市場に大学を設置するのか」という質問を受けたことがあった。先ほどの報告の中で説明があったように、すぐ近くに日本IBMや三菱総研等のIT企業が集積する場所に立地することで得られる教育面でのメリットについて、積極的に発信した方が良い。

[副理事長]

地元企業がGX化、DX化を進めていくことを考えた場合、一番難しいのが商店街である。商店街のインテリジェンス化を実現すれば、地元企業のDX化も広がっていくものと考えている。

[委員]

新学部の設置場所が決まり、早い時期から、新学部の入学生となる今の高校1年生や中学生にPRできることは良いことである。情報系の学部は今後、日本の核になる分野であると考えられるので、今回の新学部設置は、非常にタイムリーで素晴らしいことだと思っている。

## 報告2 2023年度卒業生の就職状況について

- \* 学部卒業生の就職率が99.4%（対前年度+0.1ポイント）、地元就職率が20.5%（対前年度+0.5ポイント）であったこと等を報告。

<質疑応答> なし

[委員]

離職率が高まっている中、本学卒業生の転職について、何かフォローをしているのか。

[事務局]

本学には、卒業後の離職者をフォローする仕組みは無いが、例えば、転職等の相談があれば、北九州市の「U・Iターン応援プロジェクト」につなげる等の支援をしていきたい。

## 報告3 2024年度入学者選抜試験の結果について

- \* 2024年度の一般選抜の志願状況、入学者の男女構成や出身地域構成の状況を報告。

<質疑応答> なし

## 報告4 2023年度広報活動報告及び2024年度広報計画について

- \* 2023年度の入試広報活動の実施について報告
- \* 2024年度の広報戦略及び広報計画の概要について報告。

<質疑応答>

[委員]

2024年度広報計画の資料の中に、年内入試の傾向が強まり総合型選抜及び推薦型選抜が増加傾向との記載があるが、これに対する対策として、何か検討していることはあるか。

[事務局]

本学独自ガイダンス等のイベントの開催時期を前倒しして、取り組んでいくこととしている。

[副理事長]

新学部設置に伴い、各学部で入学定員の見直しを行った。この見直しにあたっては、年内入試を考慮した上で、一般選抜の後期日程の定員を年内の学校推薦型選抜に振り替えた学部もあった。

[委員]

国立大学の学費の値上げが話題になっており、授業料の負担がどうなるかは、志願者確保にも影響するものと思われる。本学では、どのように考えているのか。

[副理事長]

本学では、授業料の値上げは全く考えていない。他大学の過去の例では、学費を下げたからといって必ずしも志願者が増えるというものでもなく、やはり学生が見ているのは「教育の質」であると考えている。しかし、国立大学の動きは今後も注視していく。

**報告 北九州市立大学における教室天井の一部の落下について（※次第書には記載なし）**

\* 6月19日（水）16時50分頃、本学北方キャンパスの本館1階のA-101教室のステージ上の天井の一部が剥がれ落ちたことについて、事故の状況や負傷者がいなかったこと、今後の対応について報告。

<質疑応答> なし